

背景・目的

人口減少という社会課題に直面する中、行政サービスを将来にわたり安定・持続的に提供するためには、従来の情報化の枠組みを超え、業務の在り方そのものを見直し、組織やサービスの構造に変革をもたらすデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が求められています。

本計画では、デジタルを単なる道具ではなく、行政や地域のあり方を根本から変える「手段」として捉え、第10期根室市総合計画を下支えする横断的な基盤として、行政サービスの利便性向上と持続可能な行政運営を目指します。

計画の位置づけ

本計画は、第10期根室市総合計画が掲げる将来像と重点プロジェクトを横断的に支える基盤計画として位置付け、国の「自治体DX推進計画」や北海道のデジタル施策との整合を図りながら推進します。

国の自治体DX推進計画
北海道Society5.0推進計画

第10期根室市総合計画
根室市DX推進計画

計画期間

令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間として定めます。

急速に進化するデジタル技術を考慮し、時代に即した行政サービスや業務効率化をDXで実現するために計画を機動的かつ柔軟にアップデートします。

推進体制

CIO（最高情報統括責任者）

DX推進本部

DX推進チーム

事務局（情報管理課）

ワーキンググループ

副市長をCIOとする全庁横断的な推進体制を構築しDXを推進します。

根室市が目指すDXの将来像（ビジョン）

基本理念

**歩みを未来へつなぐ、
デジタルで支える共創のまちづくり**

本理念は、デジタルを手段とし、地域の歩み（歴史・暮らし・産業・行政の営み）を次世代へしなやかにつなぐこと、そしてその歩みを確かなしくみと運用で支えることを宣言するものです。



つなぐ



支える

理念を体現する4つの視点
「つなぐ」「支える」「共に創る」「未来へ」
を軸に、誰一人取り残されないDXを推進



共に創る



未来へ

方針1 市民・地域に寄り添ったDX

行政サービスのデジタル化により、市民満足度の向上を目指します。

主な重点施策（市民・地域）

- ・書かないワンストップ窓口改革
- ・行政手続きのオンライン化
- ・市ホームページのリニューアル
- ・SNSによる情報発信の強化



方針2 行政内部のDX推進

業務プロセスの改革と効率化により、持続可能な行政運営を実現します。

主な重点施策（行政内部）

- ・文書管理システムの導入
- ・行政データの統計加工・ダッシュボード化（EBPM）
- ・AIの利用推進



方針3 デジタル基盤の強化

DXを支える情報システム基盤の整備と人材育成を一体的に進めます。

主な重点施策（デジタル基盤）

- ・情報システムのクラウドシフト
- ・次世代府内ネットワークの構築
- ・DX人材の育成・体制整備
- ・アナログ規制の見直し



評価・見直し

中長期的な視点でPDCAサイクルによる点検・評価を行いつつ、DX分野特有の技術進歩の速さにも機動的に対応できるよう、OODAループの考え方も組み合わせたハイブリッド型の評価・モニタリング体制を構築します。

